

西成特区構想エリアマネジメント協議会第23回「地域活性化交流・観光専門部会」議事要旨

1 日時 令和8年3月12日（火）19時から20時45分

2 場所 西成区役所 4階 4－8会議室

3 出席者

（有識者）

関西学院大学教授 白波瀬 達也

大阪公立大学客員教授 水内 俊雄

（大阪市）

式地 西成区役所総合企画課長

（地域メンバー）

ありむら 釜ヶ崎のまち再生フォーラム渉外担当

上田 NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表

松本 NPO法人釜ヶ崎支援機構 事務局長補佐

村井 西成区商店会連盟 会長

山田 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合 副理事長

4 議題

（1）新今宮エリアブランディングの取組みについて

（2）魅力発信の取組みについて

5 議事要旨

次の項目について今年度の取組内容を事務局より報告し、ご意見を頂いた。

（1）新今宮エリアブランディングの取組みについて

（新今宮スタディーツアー、新今宮ワンダーランド2025について）

◆新今宮スタディーツアーについて（主催者より説明）

- ・新今宮スタディーツアーのアンケート結果の傾向について
- ・年度別実績について
- ・仮称）「新今宮学会」の設立構想について
 - ・学識経験者等が西成区に継続的に集い、地域に関わる人々（関係人口）が定着・継続して関与できる仕組みを整えたい。
 - ・長野県飯田市の「学輪IIDA」を視察した知見を踏まえ、情報の集約・発信を担うプラットフォームづくりや、連携を軸とした推進体制のノウハウを参考にしていく。

（事務局より）

- ・3月18日に、西成区と新今宮エリア魅力向上有限責任事業組合で連携協定を締結予定。

- ・協定締結により、区内外に向けた区の広報活動の幅を広げることができる。区内については、町会やネットワーク委員等への周知強化を図る。

(委員からの意見等)

- ・県外からの参加者も多いため、宿泊・飲食と新今宮スタディツアーを組み合わせたセットプランを検討できないか。

⇒(事務局) 区として特定の民間事業者を取り上げて広報することはできないが(今回の連携協定締結も踏まえ)新今宮ワンダーランド事務局側がプラットフォームとしてセットプランを紹介する形であれば、区としても併せて紹介が可能。

- ・月1回、西成アートツアーを実施しており、多い時には1回30人程度の参加がある。参加者からは、アート以外も含め西成区のエリアを知りたいという声があり、当事業を紹介することがある。

- ・西成アートツアーを新今宮ワンダーランドのホームページで紹介できないか。

⇒可能

- ・区内企業に対し、地元理解の観点から、職員研修として当事業の参加を呼びかけてはどうか。

⇒参加を促し、西成区で働く企業の方々の士気向上につながるよう努めていきたい。

- ・福祉関係の情報を取り上げると、西成区にマイナスイメージを持つ人もいるため、あいりん地域の「楽しいところ」を見せるライトなツアーも開催してほしい。ライトな内容から慣れ、段階的に関心を深められる導線が望ましい。

⇒ライトなツアーは、他の個人ツアーで既に開催がある。

- ・(仮称)「新今宮学会」について、プラットフォームづくりが必要との説明があったが、大学職員の立場から伝えると、釜ヶ崎に対する社会的関心が近年相対的に薄れ、若者の関心の示し方も変化していると感じる。また「新今宮ワンダーランド」への関心層も変化してきている。こうした状況を踏まえ、今後研究にどのように関与していくか検討が必要と感じている。

(2) 魅力発信の取組みについて

(現代芸術振興事業、西成情報アーカイブ事業、西成しごと博物館、大阪フィルハーモニー交響楽団(以下:大フィル)との連携)

(委員からの意見等)

- ・大フィルのクラシック音楽を、乳幼児連れでも聴けて、保護者がリラックスできる機会を増やしてほしい。西成区に対する若い世代の保護者の好感度向上につながると思う。

・商店街にクラシック音楽を流してはどうか。

⇒実験的に可能であれば、大フィルの音楽を流すことも検討できないか。

⇒商店街ではテーマ性に合わせて選曲しており、歌謡曲が多い。

・新あいりん総合センター北側施設において、西成情報アーカイブ事業のコーナーが新設される見込み。今後の活用方法について、新今宮スタディツアーとの関係も踏まえ議論していきたい。新今宮スタディツアーの今後の在り方や仕掛けづくりが実現すれば、貴重な資産になると考えている。

⇒北側施設に関することは福利にぎわい会議で協議している。アーカイブ事業スペースについて、準備開始時期や進め方を整理するため、福利にぎわい会議と当会議の委員による合同での議論が有効ではないか。

⇒（事務局）西成情報アーカイブ事業は公立大学に委託しており、公立大学とも議論していく必要がある。北側施設の機能イメージが定まれば、現行の社会福祉研修・情報センターの機能をどのように展開するかなど議論が進められると考えている。

6 会議資料

- ・地域活性化交流・観光専門部会出席者名簿
- ・新今宮エリアブランディングの取組みについて
- ・魅力発信の取組みについて